

いろいろなことを経験させてあげよう！

子どもは、普段の生活やあそびの中で、いろいろなことを経験し学んでいます。

しかし、時には、子どもの自然な興味や行動に任せるだけでなく、大人が意識的に誘ったり、場面を設定して興味の幅を広げたり、背中を押してチャレンジする勇気を持たせたりすることも必要です。そうした時に子どもは嫌がったり、泣いたり、興味を持たなかったりして、大人は残念な気持ちになることがあるかもしれません。

しかし、嫌がったからといって「これは苦手なんだな」と、すぐにあきらめてしまわずに、子どもが楽しめる方法を工夫しながらスモールステップで繰り返し経験させることで、やり方やおもしろさが分かっていくということも、少なくありません。子ども自身が試行錯誤したことならなおさら、「できた！」という達成感や満足感は子どものパワーとなり、自信や意欲につながります。

子どもにとって、快の体験のみならず、「やってみたけれど、やっぱり好きじゃない」「上手くできなかったけれど、手伝ってもらったらできた」「腹が立ったけれど、気持ちを切り替えることができた」など、大人からすると一見マイナスと捉えてしまうようなことも、全てが大切な経験です。

1つ1つの経験が糧になるように、私たち大人は、子どもが安心して経験を積めるような、機会と環境を整えていつも温かく見守りたいですね。

(つばさ保育士：奥田)

